

令和元年度 鶴岡市生活支援体制整備事業報告

R 2.7.28 地域包括ケア推進室 生活支援体制整備事業担当

目的

地域共生社会の実現に向け、生活支援コーディネーターを配置し、多様な主体による様々な取り組みのコーディネートを行い、地域の実情に合わせた互助の仕組みづくりを進め、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ること

<第1層、第2層生活支援コーディネーターの役割>

第1層： 地域包括ケア推進室に配置し、協議体と連携した新しい総合事業の創出、地域資源の開発やネットワークの構築、第2層生活支援コーディネーターの支援などを行っている。

第2層： 各地域包括支援センターに配置し、担当地域における資源開発やネットワークの構築を行い、地域の関係者による多様な主体間の定期的な情報共有や、連携及び協働による取り組みなどを進めるとともに、高齢者等の生活支援の取り組みを行っている。また、第1層生活支援コーディネーターとともに住民主体による介護予防や生活支援の多様な担い手を養成し、住民同士の支え合いによる地域づくりを進めている。

<主な活動内容>

- ①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取り組み創出
- ②情報誌「つるおか通いの場 活動紹介～地域のつながり・支えあい～」作成
- ③「鶴岡市通いの場活動報告会～集えば変わる、私も地域も～」開催
- ④担い手養成研修開催
- ⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催

①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取り組み創出

<令和元年度実績>

- ◆地域の支え合い活動の把握件数：252件
- ◆新たな生活支援の取り組み創出件数：2件
- ◆新たな移送支援の取り組み創出件数：3件

<生活支援コーディネーターが関わった事業の一例>



～大山地区～
筋トレサークル粋粋男塾

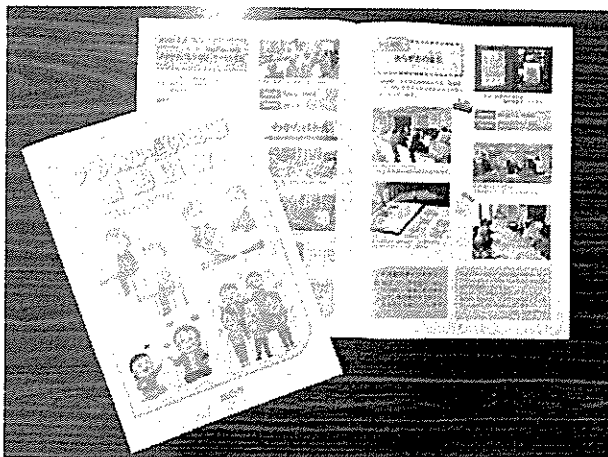


～櫛引地域～
猫の手
(鶴岡市介護予防・生活支援サービス
通所型サービスB)



～朝日地域～
大鳥地区お試し買い物支援

②情報誌「つるおか通いの場 活動紹介～地域のつながり・支えあい～」作成



700部発行
地域の支え合い活動の可視化
を行い地域の支え合い活動を
地域住民に周知

③「鶴岡市通いの場活動報告会～集えば変わる、私も地域も～」開催

開催日：令和2年2月7日（金）13：30～16：00

会場：出羽庄内国際村

内容：第1部 基調講演「これからの地域づくり戦略と地域共生社会づくりについて」
講師 厚生労働省老健局振興課 三森 雅之 氏

第2部 「通いの場」活動発表

海老島町お茶のみサロン（第1学区）/えきまえケヤキ・サロン（藤島地域）
猫の手（櫛引地域）

参加者数：222人

④担い手養成研修の開催

対象者：一般市民

内容：通いの場の運営や日常生活支援の担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、同行訪問

令和元年度実施状況

第1回 実施期間 令和元年6月17日（月）、6月18日（火）、7月22日（月）、
6月24日（月）～7月19日（金）の平日の内、1日60分（同行訪問）
会場 鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♡ふる）

第2回 実施期間 令和元年11月19日（火）、11月20日（水）、12月23日（月）、
11月25日（月）～12月16日（月）の平日の内、1日60分（同行訪問）
会場 鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♡ふる）

<担い手養成研修修了者数>

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	計
44	40	49	30	163

⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

令和元年度実施状況

- 第1回 日時：令和元年7月8日（月）14：00～15：50
 場所：鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♡ふる）3階大会議室（出席委員12名）
 内容：鶴岡市における移動支援、鶴岡市ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助金交付事業、介護予防モデル事業、社会福祉法人の事業紹介等。
- 第2回 日時：令和元年9月27日（金）10：00～12：00
 場所：鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♡ふる）3階大会議室（出席委員12名）
 内容：鶴岡市における高齢者等に関するデータ及び事業、高齢者の見守り支援等に関する情報提供、委員が関わる高齢者等の事業及び課題・ニーズ等。
- 第3回 日時：令和2年1月29日（水）14：00～16：10
 会場：鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♡ふる）3階大会議室（出席委員9名）
 内容：介護予防・日常生活支援総合事業の現状、ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯、認知症高齢者等に関する地域支援等。

第2層生活支援コーディネーター 月次活動記録集計 (H31年4月～R2年3月延べ件数)

	個別支援			地域支援										地域ケア会議				包括・法人内部会議	SC定例会	その他会議	研修参加	資料作成等事務			
	関係形成	直接支援	連絡調整	関係形成	協議	調査・情報収集	立ち上げ支援	運営支援	地域への働きかけ	サービス創出	担い手養成	マッチング	ネットワーク化	情報発信	連絡調整	事業実施	個別ケア						自立支援型	ネットワーク	推進会議
合計	58	69	52	536	190	582	456	477	535	67	289	109	33	38	310	132	137	88	125	56	144	119	326	269	659
	179			4024										406											

今後に向けて

- ◆令和元年度は、地域住民との関係形成、地域資源の把握、「通いの場」の創出と活動支援、通いの場についての情報発信が中心に行われ、生活支援コーディネーターの役割が地域住民に広く周知された。生活支援コーディネーターの働きかけにより、買い物支援や地区を越えての住民同士の交流会も開催されており、今後も、地域住民のニーズに応じた多様な取り組みのコーディネートを継続していく。
- ◆担い手養成研修修了者は確実に増えているが、研修修了後のフォローアップは実施しておらず、担い手としての活動状況の把握と、活躍してもらえないような働きかけが必要である。
- ◆地域課題の抽出から、課題解決に向けた新たな生活支援の取り組み創出までには至らず、各地域の実情に合わせた新たな生活支援の取り組み創出が課題である。